



# 大地の実り

水戸市立下大野小学校  
学校便り NO. 15  
平成27年11月2日

## 一 張 一 弛 一 馳 一 息

次世代をリードする“水戸人”の育成のために、郷土水戸の歴史や伝統、水戸人としての心を学ぶ「水戸教学」という特別な学習があります。水戸の小中学校では、「水戸まごころタイム」の中で、学習を進めています。これは、他の市町村にはない水戸としての教育の特色です。その中の「先人のことば」シリーズ11月が、右の偕楽園の記の中の一節「馬に一馳一息有りて恒に健し」です。

今、下大野小学校では、声を上げて表現する機会の一環として、暗唱を進めています。強制ではありませんが、11月の暗唱の課題が、水戸教学「先人のことば」シリーズ11月にちなみ、右のような徳川斉昭公の書いた「偕楽園の記」の一部分にしました。内容は、「弓も張りっぱなしでは駄目だし、馬も懸命に走らせっぱなしではだめで、弛める時や、休ませるときが必要なのだ。ゆとりがあってこそ、学習にも運動にも全力が尽くせるのだ…」ということになるのでしょうか。

若干心配なのは、ややゲームやインターネットに夢中過ぎ…といった子どもたちの姿を時折感じる時があることです。メリハリを付けて、集中したり休んだり人間には一番よいということなのでしょう。先人の教えのように「やるべきことはしっかりやる。遊ぶときは、夢中で遊ぶ。」ことを大事にしたいものです。

徳川斉昭公「偕楽園の記」より

弓に一張一弛有りて恒に勁く、  
馬に一馳一息有りて恒に健し。  
弓に一弛無ければ則ち必ず撓み、  
馬に一息無ければ則ち必ず殫る。  
是れ自然の勢ひなり。

## 下大野の子どもたちの活躍



- 茨城県スポーツ小年団スポーツ大会 柔道  
個人戦 小学3年生の部 第3位  
3年 栗原 吏市
- ピティナ・ピアノコンペティション デュオ部門  
連弾初級 入選 5年 高橋 杏
- 水戸市芸術祭 書写の部 入選  
2年 久野 夏希 4年 鈴木 陽翔  
5年 一家 葵 6年 鈴木 伶奈
- 水戸市芸術祭 絵画・デザイン・立体作品の部 入選  
1年 田中 杏季 3年 雲井 稟大  
5年 大和田歩夢 6年 松浦 樹音
- 水戸市芸術祭 詩の部 佳作  
4年 鈴木 陽翔

## お知らせ

### 第1回常澄地区駅伝大会

先日おたよりでお知らせしたように、常澄地区「小中一貫教育推進」の事業の1つとして、小学校区代表チーム対抗の駅伝大会が11月21日(土)の9時から、JA 水戸常澄営農資材センター近辺で行われます。本校の代表選手は、  
4年 大和田 拓夢・荻谷 碧衣  
5年 大和田 歩夢・久野 穂乃花  
6年 人見 溪斗・松浦 樹音  
さんの6名です。これに、下大野小学校出身の中学1・2年生が加わります。応援をよろしく願いいたします。

今回は夏休みに1年生の書いた作文を2つ紹介します。

### おこめづくり

### 1年 おおわだ はると

ぼくのじいじのおうちでは、おこめをつくっています。4がつにたねまきをします。ぼくはなえぼこをきかいいにいたり、たねまきをしたなえぼこをはこぶおてつだいをします。つちがはいったなえぼこはとてもおもいからつかれます。ハウスいっぱいになるまでやります。

5がつのゴールデンウィークに田うえをします。じいじの田うえきのにせてもらって、うれしかったです。ながぐつをはいて田んぼにはいりました。どろどろしていて、あしがうごきませんでした。それで田んぼのなかにはいってしまいました。おとうさんにだしてもらいました。田んぼのなかをあるくのは、むずかしいです。

おみずがはった田んぼは、ちゃいろです。そこにじいじが田うえをしていくと、みどりいろになっていきます。そのあとあつくなっていくと、いねがどんどん大きくなっていきます。いろはこがねいろになります。

9がつは、いねかりをします。ぼくはコンバインでとれなかったおこめをひろって、ふくろにいれます。コンバインのにせてもらいます。コンバインは、いねをとって、田んぼはきれいになっていきます。そのあときかいいにいてかんそうします。きかいでおこめのからをむいて、せいまいをします。じいじのおこめのかんせいです。できあがったおこめをみるとぴかぴかになっています。おこめをたべると、おいしいです。じいじのつくったおこめはいちばんおいしいです。

9がつにまたいねかりのおてつだいをします。おいしくて、きれいなおこめになってほしいです。

### 田うえ

### 1年 おぎや ゆいと

ぼくは、5月31日にかしませんのだの田んぼで、みとちゃんの田んぼアートにさんかしました。

田んぼにはいると、あしがぬけないくらいぬるぬるしていました。きもちよかったです。でも、いっぽすすむところびそうになって、こわかったです。

おじちゃんに、「いねは5ほんから10ぼんうえてね。」とおしえてもらいました。ねっこがくっついてとるのがむずかしかったです。たいふうにまけないようにふかくうえました。はじめての田うえは、どろんこあそびみたいでたのしかったです。

みとちゃんもきていて、あくしゅしたりしゃしんをとったりしました。

おわたたら、おにぎりをとんじるをみんなでたべました。がんばったので、おいしかったです。

そのあとみにいったら、まえよりせいちょうしてました。みとちゃんとうめのはなとこうぶんていがいねできれいにみえました。

おこめができるまでとてもじかんがかかるとはおもいませんでした。田うえをしておこめのだいじさがわかりました。これからは、ひとつぶものこさないようたべてこうとおもいます。

いねかりをしたらじぶんでうえたおこめをたべたいとおもいます。

その他にも、

3年 清水 萌花「毎年ちがったみとちゃんアートはとてもすごい。」

3年 金澤 翼「下大野地区は平らな地形で、お米をたくさん作っています。おいしいごはんです。」

6年 人見 溪斗「自分が植えてつくったみとちゃんアートがじまんです。」 などなど・・・